

該当する四半期の数字を記入してください。

本報告書は、四半期終了後の翌月第2週までに電子データにより提出いただきます。その都度、提出日を記入してください。

平成30年度研究拠点形成事業(A. 先端拠点形成型)

第1四半期交流状況報告書

- ・相手国側との交流については「1. 相手国別交流研究者総表」、日本側参加者どうしの交流については「2. 日本国側交流研究者総表」に記入してください。
- ・各四半期をまたぐ交流については、開始日の含まれる四半期の欄に、全交流日数を記入してください。
- ・相手国側のマッチングファンド等、本事業経費によらない交流については、()に記入してください。
- ・セミナー基調講演者として本事業経費から謝金を支払った場合は、旅費を支払っていない場合でも記入してください。

日本側拠点

研究交流課題名

(日本側→中国側)
交流リストNo.1、2、5
の合計人/人日

(日本側→韓国側)
交流リストNo.3、6
の合計人/人日

(日本側→米国側)
交流リストNo.4の合
計人/人日

自動計算されますので
入力不要です。

1. 相手国別交流研究者総表<人/人日>

派遣元	派遣先	四半期	日本	中国	韓国	米国(第三国)	合計
日本		1	/	3 / 13 (/)	2 / 5 (/)	1 / 5 (/)	6 / 23 (0 / 0)
		2		/ (/)	/ (/)	/ (/)	0 / 0 (0 / 0)
		3		/ (/)	/ (/)	/ (/)	0 / 0 (0 / 0)
		4		/ (/)	/ (/)	/ (/)	0 / 0 (0 / 0)
		計		3 / 13 (0 / 0)	2 / 5 (0 / 0)	1 / 5 (0 / 0)	6 / 23 (0 / 0)
中国		1	/ (1 / 14)	/ (/)	/ (/)	/ (/)	0 / 0 (1 / 14)
		2	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		3	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		4	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		計	1 / 14 (/)				0 / 0 (0 / 0)
韓国		1	/ (/)	/ (/)	/ (/)	/ (/)	0 / 0 (0 / 0)
		2	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		3	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		4	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		計	0 / 0 (0 / 0)				0 / 0 (0 / 0)
米国(第三国)		1	/ (/)	/ (/)	/ (/)	/ (/)	0 / 0 (0 / 0)
		2	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		3	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		4	/ (/)				0 / 0 (0 / 0)
		計	0 / 0 (0 / 0)				0 / 0 (0 / 0)
合計		1	0 / 0 (1 / 14)	3 / 13 (0 / 0)	2 / 5 (0 / 0)	1 / 5 (0 / 0)	6 / 23 (1 / 14)
		2	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)
		3	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)
		4	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)
		計	0 / 0 (1 / 14)	3 / 13 (0 / 0)	2 / 5 (0 / 0)	1 / 5 (0 / 0)	6 / 23 (1 / 14)

(中国側→日本側)
相手国側経費による交流
※交流リストには記載しない

自動計算されますので
入力不要です。

2. 日本国側交流研究者総表<人/人日>

第1四半期	第2四半期	合計
1 / 2 (2 / 4)	/	1 / 2 (2 / 4)

交流の合計人/人日は、延べ人数でカウントしてください。
(例)
交流リストNo.2、5のように、同一人物が日本側→中国側への交流を行った場合でも、2/8<人/人日>としてカウント。

自動計算されますので
入力不要です。

- 【記入】(日本国内)
- ・相手国側 No.7の合計人/人日
- ・相手国側 No.7の合計人/人日
- ・欄が足りない場合は、非表示となっている行および列を再表示させ、入力してください。

【交流リスト記入例の内容】

- No.
1. 日本側研究者1-1が中国側研究者2-1を、R-1 共同研究の打合せのため訪問。
 2. 1と同様に、日本側研究者1-2が1-1に同行して、中国側研究者2-1を訪問。
 3. 日本側研究者1-1が韓国側研究者3-1を、S-1セミナー、R-1 共同研究の打合せのため訪問。
 4. 日本側研究者1-3が米国開催の学会にて口頭発表のため、米国(第三国)へ派遣。
 5. 6. 日本側研究者1-2が中国側研究者2-1、韓国側研究者3-1を、R-2 共同研究の打合せのため訪問。
 7. 日本側研究者1-1が日本国内にて開催のセミナーに参加。
(遠方の協力機関にて開催のため、移動日数が発生した場合)

